

1. 麦類の今後の管理について

30年度の麦は10月の台風を含む降雨の影響により播種の遅れと、また12月から2月までの低温・少雨により生育が遅れていました。しかし3月以降は気温が平年より5日程度早く出穂期を迎えました。今後の管理としては、明渠の点検・補修、赤かび病の防除、収穫作業を適正に行い、高品質麦の生産をしましょう。

(1) ビール大麦

発芽勢の確保のため、適正な収穫作業を行いましょう。

◎ 早刈り厳禁

収穫適期：8割の穂首が90度以上曲がった頃（穀粒水分25%以下）
生育ムラがある場合：収穫日を通常の生育よりも1～3日遅らせるか、刈り分けを行いましょう。

◎ 適正な収穫作業

コンバインの掃除を徹底的に行いましょう。回転数は稲よりも1割遅くし、裂皮や剥皮が発生しないか確認しながら作業しましょう。

(2) 小麦

圃場を観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。

◎ 赤かび病の追加防除（2回目）

1回目散布（開花始）の20日後に2回目の薬剤散布を行いましょう。
同系統薬剤の連用は避け、収穫前日数に注意して薬剤を選びましょう。

2. 水稻の育苗のポイント

(1) 適切な浸種・催芽

- ・浸種は積算温度100～120℃（消毒種子は120～130℃）程度で行ってください。
- ・低温備蓄種子はしっかり吸水させるため、浸種時間を1～2日長くする。
- ・催芽は、28～30℃、18～20時間ハト胸程度に均一になるようにする。

浸種時間の目安

種子	水温15℃の場合の浸漬日数 (積算温度)
未消毒種子	7～8日(100～120℃)
消毒種子	8～9日(120～130℃)
低温備蓄種子	8～10日(120～150℃)

(2) 適正播種量

播種は薄播き（箱当たり催芽粃130g）でがっちりとした苗を作りましょう。

(3) 播種後の管理

徒長やムレ苗発生防止のため温度管理や、過剰なかん水に注意しましょう。

		展開後1～4日(緑化期)	5～15日	15日～
温度管理	日中	18～25℃(30℃以上にしない)		
	夜間	10℃(最低5℃以上)		5℃～7℃以上
かん水	かん水量	極度に乾燥した時以外は控える。	控え目のかん水に勤める。	1日1回午前中十分に
	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・かん水量が多すぎると苗が徒長し、根の生育不良を招く。 ・低温時のかん水は午前中に行い、夕方のかん水は行わない。 ・夕方、苗箱の表面が乾く程度が最適です。 		晴れの日にはタップリと、曇りの日は控えめに。

(裏面あり)

野菜栽培のポイント

1. 健全な土をつくりましょう。

健全に育ち、病害虫にも強く、味のよい野菜を収穫するためには、土づくりをしっかり行うことが肝心です。そのためには、根が土の中にしっかり伸び、水分と養分をたっぷり吸収できる土にする必要があります。

そこで深く耕し、排水と通気性が良く、また保水力のある良い土（団粒構造）にしましょう。

2. 石灰を施し、土の酸度（pH）を調整しましょう。

雨により土の中のカルシウムやマグネシウムが溶けて流れ出てしまうため、土壌は酸性になりがちです。

- (1) 野菜は一般的にpHが5.5～6.5位の弱酸性に保ちましょう。
- (2) 顆粒生石灰を1㎡あたり100g～300g程度散布しましょう。
- (3) ほうれんそう、いんげん、たまねぎ、ねぎなどは特に酸性に弱い野菜ですのでpHが6.0～6.5を目安に注意しましょう。
- (4) 石灰は苗を植えつける20日ほど前に散布し、耕運機などでよく耕して土と混ぜるようにしましょう。また肥料は10日前に散布しましょう。

3. 施肥（肥料）は適正に行いましょう。

化成肥料（無機質肥料）は鉱物などを原料に製造された肥料です。化成肥料の長所は、施肥後にすぐに効くこと（即効性）と、成分量が明確なため施肥量の調整が簡単な点です。短所は、過剰に施肥すると、化成肥料のみを連用すると土中の有機物が減り、地力低下を招くことです。

有機物と化成肥料を組み合わせた施肥例が下記のようになります。

- ① 完熟堆肥（モーフン） 4～6ℓ / ㎡
- ② 化成肥料（野菜専用S444） 100g～150g / ㎡

4. 連作を避けましょう

同じ場所に、同じ野菜を作付（連作）すると病害虫などの影響で生育の悪くなる連作障害が発生しやすくなります。連作障害は同じ野菜だけでなく、同じ仲間（科）の野菜でも起こりますので注意しましょう。家庭菜園などの限られた畑ですと変更が難しいですが、栽培する種類ごとに畑を区割して、なるべく連作を避けましょう。

下記に、連作障害の起こりやすい野菜のグループを表示しましたので参考にして下さい。

連作障害のでやすい野菜

アブラナ科	キャベツ、白菜、大根、ブロッコリー
ナス科	トマト、茄子、ピーマン、唐辛子、ジャガイモ
ウリ科	キュウリ、スイカ、メロン
マメ科	エンドウ、ソラマメ